

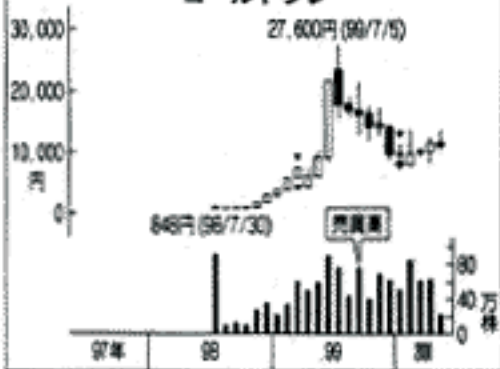
(8871)

ゴールドクレ

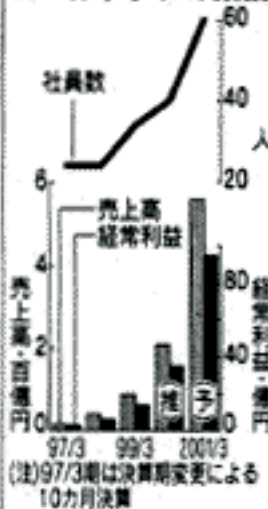
成長期待で高いPER

販価下落など懸念材料も

ゴールドクレ



ゴールドクレの業績



株価は中小型の成長株物
色の流れに乗り、昨年度に
一時二万七千円台まで上
昇。その後調整局面に入り、
直近では一万一千二百円
前後で推移している。

円前後で推移している。
前期確定ベースの株価収
益率(PER)は七十倍台
で、ジョイント・コーポレ
ーション(三十倍台)など

の同業他社に比べてもかな
り高い。株価が二〇〇一年
三月期も高い成長が続くと
の期待を振り込んでいるた
めた。

界トップ。国際証券の小沢
公樹アナリストは「効率経
営の手法を確立しており、
今後二年間の成長力を考慮
すれば上値の余地はある」
と指摘する。

同社の成長を支えている
のは社員約四十人という少
人数での効率経営だ。販売
地区を東京都内二十三区と
川崎・横浜エリアに限定し、
粗利率率二五％を目標にマ
ンション用地を仕入れ、値
ごり感のある物件を開発。
モデルルームを訪れる客に
絞って集中販売しており、
在庫も少ない。

一人当たり経常利益は業
界トップ。国際証券の小沢
公樹アナリストは「効率経
営の手法を確立しており、
今後二年間の成長力を考慮
すれば上値の余地はある」
と指摘する。

また、二〇〇一年六月末
の住宅ローン減税の適用期
間切れを控えて、マンシヨ
ン供給圧力が高まり、販売
価格が下落する懸念があ
る。アナリストのなかには
「売り上げ拡大を重視する
余り、高い収益が見込める
土地だけを仕入れ続けるの
が難しくなる」との声もあ
る。

一人当たり経常利益は業

界トップ。国際証券の小沢